

# おしのがき

No.34

平成25年5月25日

発行：徳島県吉野川市議会



鴨島東保育所（お誕生会）

## 目次

議案の審議から 2

代表質問 6

一般質問 7

市民のページ 14

クイズ 15

# の審議から

## 平成25年度一般会計予算決まる 平成24年度補正予算審議

3月定例会では、条例関係案21件、予算案19件、専決関係案5件、  
その他7件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

- ▼吉野川市道路の構造の技術的基準を定める条例制定
- ▼吉野川市道路に設ける道路標識の寸法を定める条例制定
- ▼吉野川市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例制定
- ▼吉野川市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例制定
- ▼吉野川市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例制定
- ▼吉野川市水道事業及び簡易水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例制定
- ▼吉野川市ふいご温泉条例を廃止する条例制定
- ▼吉野川市ヘルスランド美郷条例を廃止する条例制定
- ▼吉野川市都市公園条例の一部を改正する条例制定
- ▼吉野川市下水道条例の一部を改正する条例制定
- ▼吉野川市市営住宅条例の一部を改正する条例制定
- ▼市道路線の認定
- ▼市道路線の廃止

## 産業建設常任委員会

### 質問

レクリエーション農園整備事業について、レクリエーション農園を新たに山川地区に整備するが、川島地区からも要望があったと思う。山川地区を先行して整備する理由は。

### 農業振興課長

昨年、山川地区、川島地区を対象にレクリエーション農園のニーズ調査を行い、その結果、両地区から利用したいとの意見があった。ただ、地元団体に管理を任せられないかという考えがあり、管理ができそうな団体がある山川地区で開設する。今のところ運営は市直営で行う。



森藤地域でのレクリエーション農園

平成25年3月議会  
定例会

## 議案

日程：平成25年3月4日～3月22日



鴨島児童館

- ▼吉野川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定
- ▼吉野川市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員等に関する基準を定める条例制定
- ▼吉野川市児童館条例の一部を改正する条例制定
- ▼吉野川市養護老人ホーム芳越荘の指定管理者の指定

## 文教厚生常任委員会

## 質問

奨学資金貸付金270万円を当初想定した人数より少なかったために減額するとの説明であったが、当初予定していた人数と金額は。

## 学校教育課長

平成24年度は3名で予算額は505万2000円を予定していたが、今年度貸付者は1名であったため減額した。

## 質問

川島こども園は2億円でできると説明を受けたが、予算では3億6970万円計上されているが、倍になった経緯は。

## 子育て支援課長

川島こども園は各関係機関と協議を重ね、衛生管理、防災・防犯面の強化、子ども目線で考えた機能性や快適性を重視した。



具体的には、調理室はドライ化オール電化により衛生管理を徹底した厨房とし、ランチルーム、給食用エレベーターを新設。環境面では全館冷暖房から各部屋ごとに変更し、防災・防犯面では避難用すべり台・侵入防止フェンス・カメラなどを設置する。

また、子ども目線で考えた機能性や快適性を考え、階段の勾配、床・天井の高さを変更、幼児用トイレの増設などを考慮した設計となったためである。

## 総務常任委員会

- ▼吉野川市新型インフルエンザ等対策本部条例制定
- ▼吉野川市人権の花咲くまちづくり条例制定
- ▼吉野川市美郷集落センター条例の一部を改正する条例制定
- ▼吉野川市川島地区防災行政無線施設条例の一部を改正する条例制定
- ▼吉野川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定
- ▼吉野川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定
- ▼吉野川市火葬場条例の一部を改正する条例制定
- ▼麻植郡4町村合併まちづくり計画の変更
- ▼運転管理センター建築工事請負契約の締結

### 質問

男女共同参画基本計画改定業務委託料で150万円計上しているが、委託しない職員が改定することとは無理なのか。

また、ヘルストロンの保守点検委託料、ヘルストロンは約20年程度使用しており毎年同額の予算が計上されているが、利用状況と器具の状態は。

### 人権課長

現在の男女共同参画基本計画は本年度末に期間が満了することから、条例に基づき見直しが必要となる。今回の改正で、配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律に基づく事項を盛り込むこととしている。進捗状況は、本年1月末よりアンケート調査を実施しており現時点で約40%の回答を得ている。

アンケート結果が段階で内容などを分析し、反映させるには専門的な知識などが必要のため業務委託を行う。

児島老人ルーム他2か所に設置されているヘルストロンは保持点検を行うことにより正常に作動している。利用状況は人気がかなり頻度で利用している。



男女共同参画基本計画と人権施策推進計画  
のパンフレット

## 代表・一般

ここが聞きたい

## 質問

3月議会定例会では8名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

## 代表質問

① 河野利英

○防災、減災について

○社会資本施設等の耐震化について

○学校教育について

●林業の活性化について

⑤ 枝澤幹太

○学校再編について

●環境施策について

○市有林および地場産木材について

○防災について

⑥ 山下智

●災害弱者の情報共有について

○市民の防災意識向上について

○人口減抑止対策について

## 一般質問

② 細井英輔

●幼稚園給食および預かり保育について

○学校再編について

⑦ 岸田秀樹

●麻植協同病院移転改築工事にかかる

江川湧水等環境整備について

○安心・安全について

③ 相原一永

●防災対策について

○通学路の安全対策について

⑧ 岡田光男

○本市の人口減少対策について

○麻植協同病院の新築移転について

○TPP交渉参加について

●学校再編計画について

④ 高木純

○体罰について

●ごみ減量化について

○空き家条例の制定について

## 平成25年3月議会定例会

# 代表質問



かわの  
河野  
としひで  
利英  
(薫風会)

### 林業の活性化策は

(質問)

### 林道整備と丸太素材現物給付 事業を進める

(答弁)

#### ◎質問

森林は、大雨時の保水機能や生活環境を維持していく上で大きな役割を担っている。この大切な森林を守るために林業を活性化、推進し、安定した産業にしなければならなくと考える。木材を伐採、搬出するためには林道整備が必要である。どのように林道を整備していくのか。

また、本市が、所有する山林を計画的に間伐、搬出して5軒分の木材を丸太素材で現物支給する補助事業を開始すると聞き、地域活性化策として

大変素晴らしい事業だと考える。市有林から伐採して木造住宅を新築される市民の方へ木材が渡っていく過程は。

#### ◎井内産業経済部長

今年度、幹線林道2路線開設中で支線林道は今後3か年で2路線の整備予定をしている。簡易作業道は間伐施行区域内において国庫補助を利用して、随時設置していき効果的な間伐事業を進めていく。

木造住宅の新築補助制度については、市の間伐材を一定の条件で支給



美郷川俣の木材集積場

し、建築への利用を促進することによって、木材の地産地消を進め需要の喚起を図るものでこの取り組みによって林業の活性化のみならず、定住促進や税収の増加、森林の多面的機能の維持につな

げたい。

丸太素材については毎年10haの市有林間伐材のうち、良質の杉、桧材を使

用する。給付量は1戸当たり最高35㎡で、募集は9月ごろから開始し12月に引き渡す予定で5戸分を確保する。

#### ◎再問

市が伐採、搬出経費のかからない民有林の木材を市場価格で購入し、この事業に乗せれば多大な

経済効果が期待できると  
思っが。

○井内産業経済部長

地産地消の形で木材資  
源を木造建築材へ利用し、  
民有木材の利用喚起をす  
ることが、この給付事業  
の大きな目的である。

実現に向けて、木造住宅  
の需要の増加、既存産業と  
の協調など適切なバラン  
スを保ち事業拡大を図る  
ことが大切だと考える。

【その他の質問】

◎質問

河川監視カメラの映像  
をケーブルテレビ会社に  
配信することは可能か。

○防災局長

テレビ配信も有効と考  
えられる。検討したい。

◎質問

木造住宅の耐震促進の  
さらなる取り組みは。

○建設部長

耐震診断の無料化およ  
び耐震改修工事の補助金

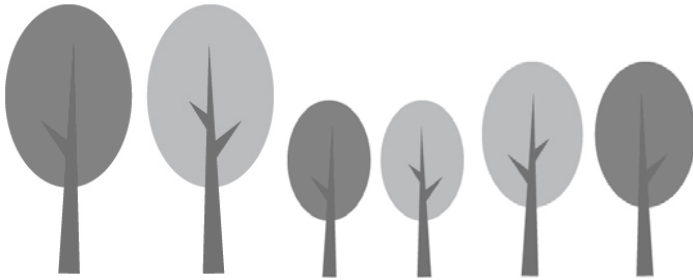
を増額し、施工制度の事  
業内容の周知を図る。

◎質問

幼稚園給食実施時の食  
育の考えは。

○教育次長

保護者との連携が重要  
である。本格実施に向け  
さらなる研修の充実に努  
める。



平成25年3月議会定例会

一般質問



ほそい  
英輔  
えいすけ

早く幼稚園で給食と  
預かりを

(質問)

給食は平成26年度か  
ら実施

(答弁)

◎質問

平成26年度川島認定こ  
ども園開設に合わせ、市  
内の全ての幼稚園で給食  
を本格実施するが、美郷  
の種野幼稚園では、合併  
前から幼稚園給食を実施  
している。他の幼稚園で  
も1日も早い実施を望む  
声があるが、実施可能な  
園から順次実施できない  
か。

また現代においては核  
家族化が進み、共働きの  
家庭、さらには祖父母も  
仕事をしている家庭も多  
くなり、安心して子ども  
を預けることは重要な問  
題となっている。幼稚園

が時代のニーズに定める  
ためにも、幼稚園で預か  
り保育を実施すると、保  
育所の待機児童対策にも  
なるのではないか。

○貞野教育次長

平成26年度から市内全  
幼稚園で実施する予定で  
提供数は、幼稚園250食、子  
ども園100食、教員を含め  
ると計400人程度になる  
見込みである。平成25年  
度中に準備を進め、万全  
の態勢を整える必要があ  
る。保護者に対し、説明会  
や給食試食会の実施や保  
護者の要望も考慮し、給  
食の意義や食育の重要性

についてしっかりと連携したい。

○川真田市長

幼稚園の預かりは、吉野川市幼・保再編構想に基づき、川島認定こども園が開設され次第、順次実施する。

【その他の質問】

◎質問

学校再編の進捗状況と今後の予定は。

○教育次長

再編計画の素案を作成している。



種野幼稚園の給食風景



あいはら  
かずなが  
相原 一永

防災ラジオを戸別配布しては

(質問)

F M 局の開設なども検討する

(答弁)

◎質問

昨年の 9 月議会で災害時など市民への情報伝達的手段として、フェイスブックやツイッターの導入を質問し、内部検討組織を立ち上げ検討すると答弁があったが、その後どのような取り組みをしたのか。

また、防災情報通信システム整備事業に防災ラジオを活用してはどうか。

○上野防災局長

フェイスブック・ツイッターの活用について、ソーシャルネット

ワークシステム検討会を立ち上げ、導入のメリット・デメリットなどを検討してきた。早ければ、秋の台風シーズンまでに本格運用したい。

また、緊急時には自動受信する安価な防災ラジオを導入する。

◎再問

先進地では F M 局を開設し戸別に防災ラジオを配布している。

本市においては、民間に F M 局を開設してもらい戸別に防災ラジオを配布しておけば、災害時市民へ情報がリアルタイム

に伝達できる。F M 局を開設し、防災ラジオを全戸無料配布してはどうか。

○上野防災局長

F M 局の開設も視野に入れ検討する。

【その他の質問】

◎質問

通学路の危険個所の安全対策を優先順位をつけて順次進めるべきだ。

○総務部次長

道路管理者や吉野川警察署・関係部局と連携し、順次対応する。



システムイメージ



受信機





高木 たかぎ

純 じゅん

ゴミ減量化の取り組みが停滞しているのではないか

(質問)

水切り器具の配布など創意工夫して減量化を進めたい

(答弁)

◎質問  
ゴミ減量化については本市でも生ゴミを減らすために「段ボールコンポスト」の普及を勧めたり、以前にはなかった「雑紙」を資源化するなど、一定の成果を上げている。

しかしながら、今年度を見ると減量化を推進する前の数値に戻ろうとしている。

であるが、今のペースだと年間70tになりゴミ減量化を進める前の水準に戻ろうとしている。

中央環境センターのゴミ処理費は昨年1tあたり3万8336円である。今年度は天然ガスや電気代の高騰により処理費が上がりに、約4万円になるのかと思われる。そうなるとういよいよゴミ減量化は重要だ。

可燃ゴミを減らせば処理費が減らせる。1t減らせば4万円。当然市の中央環境センターへの負担金も減るので、減量化は重要な取り組みである。

る。それなのになぜ24年度はゴミの減量化が進まなかったのか。

○河内環境局長

ゴミ減量化の取り組みが頭打ち状況であること、を打開するために生ゴミの水分を減らすための「水切り器具」を生ゴミ排出が多いと思われる地域に集中配布して協力を

願いたい。また利用されずに捨てられる食品ロスを削減するような啓発を行いたい。

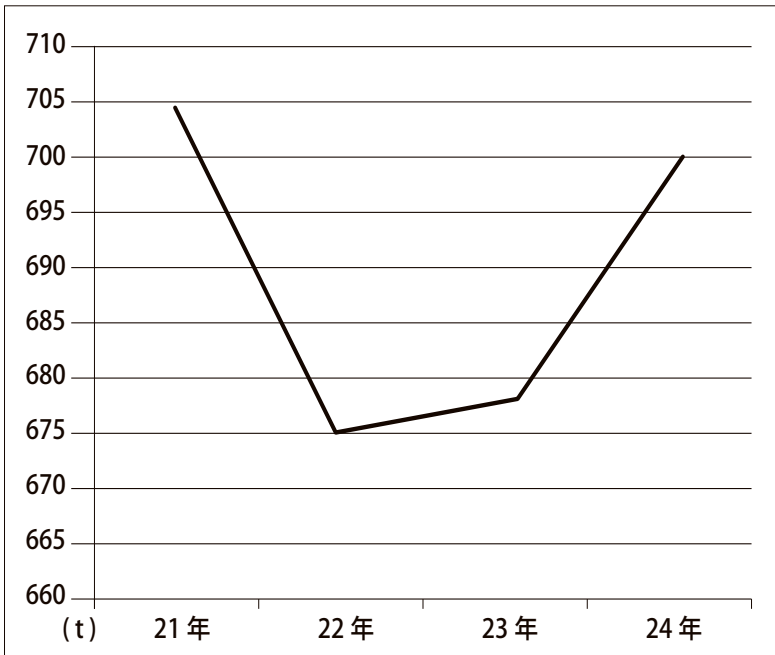
◎再問

可燃ゴミの袋には約3kgから5kgのゴミが入る。1tの処理費が4万円なら、5kgのゴミの処理費は200円になる。市の負担金を減らす効

果が絶大なので市長も先頭に立って担当部署を指導・激励して欲しい。

○川真田市長

可燃ゴミの増加については私自身もおろそかにしていた。今後市民へのPRや分別を進めて減量化に努力したい。



中央環境センターへの可燃ゴミ搬入量の推移グラフ (本人作成)





えだざわ  
枝澤 幹太  
みきた

### 市有地にメガソーラーを設 置する考えは

(質問)

### 調査研究をしたい

(答弁)

#### ◎質問

県では昨年徳島空港の臨空用地、小松島港の赤石地区、マリンプピア沖洲の廃棄物最終処分場跡地を有効活用するためメガソーラーを設置導入し企業から1㎡あたり150円の利用料収入を得ている。

高知県は安芸市と県内民間企業と共同出資し、市の保有地にメガソーラーの建設運営を始めた。これは地域が主体となって発電事業を手がけ経済効果を地域内に還流させる狙いである。

また美馬市では、一般市民地元企業、NPO法

人、地元金融機関、徳島県

が一体となり国の再生エネルギー特別措置法を活用した全国でも新しい取り組みで太陽光発電事業を立ち上げている。

そこでこれらの例のように、本市でも市有財産のうち使用されていない土地、建物の現状と今後どのように有効活用するのか。

#### ○増富総務部次長

公有財産の活用方法については市、公有財産活用検討委員会において全庁的な検討をしている。今後有効活用の可能性

について検討する物件として旧老人ホーム天寿荘、旧川島町役場、旧上椋温泉、約1万8300㎡、売却する物件が、5件で約1800㎡、貸し付け終了後に売却する物件は、3件で約4600㎡、計約2万4700㎡となっている。

これらの市有地については各部署ごとに協議を行い有効活用、または処分について検討を行い、将来的に利用予定のないものについては順次処分を行っていきたい。

#### ◎再問

再生可能エネルギー、特にメガソーラー設置導入に近隣自治体では原子力、化石燃料からの脱却を図るために地域分散型のエネルギー社会へ移行し持続可能な地球環境の保全に寄与するために、いろいろな取り組みをしているが、市の考えは。

#### ○河内環境局長

メガソーラーについては温室効果ガスや有害な

ガスを排出しないなど環境面のメリットや固定価格買取制度で収益の安定が見込めるなど事業面のメリットなど非常に魅力的である。また、県と市、県内企業が共同事業を展開することで、発電によるメリットを地域内に最大限還流させられるシステムが高知県で考案されている。

このように地元自治体、あるいは地元市民へ直接還元される動きが展開されつつあるので、先進事例の成り行きを注視し、調査研究を行いたいと考えている。



神山町に設置された民間のメガソーラー





やました  
山下  
さとしる  
智

## 関係者団体に災害弱者に情 報を開示する考えは

(質問)

## 国の状況を見ながら、検討する

(答弁)

◎質問  
災害時要援護者台帳の「要支援者」や「地域支援者」の登録および整備状況は。

○鎌田福祉事務所長

平成25年1月現在、341名で、そのうち地域支援者を登録している方は、299名である。今後も登録の推進を図っていききたい。

◎再問

災害対策基本法の改正に伴い、災害時要援護者支援ガイドラインも改正が検討され、自力で避難

することは難しい。今後国の法整備の状況を見守る。

○川真田市長

障害者団体や福祉、介護事業所などと連携していく必要がある。国の状況を見守るとともに、関係機関や関係団体を含めた協議について、検討していく。

## 【その他の質問】

◎質問

一斉防災訓練の※「シェイクアウト」を取り入れては。

○防災局長

各自主防災組織で取り組めるよう指導したい。

◎質問

少子化対策を充実していくための市の考えは。

○福祉事務所長

放課後児童クラブの、拡大を検討していきたい。「病児・病後児保育委託事業」は、医療機関に協

力をお願いしていく。

◎質問

郷土愛に満ちたまちづくりの今後の取り組みは。

○産業経済部次長

観光資源の活用や歴史・文化の情報提供など、今後どのような取り組みが可能か検討したい。

◎質問

若者の雇用確保や転入者を受け入れる環境を整備することが必要であるが。

○市長

「住宅」、「育児・教育の分野を中心とした移住定住策」に取り組む。



阪神淡路大震災

※シェイクアウト訓練とは……

米国など世界各地で行われる大規模な地震防災訓練。年に1回、数万人から数百万人が参加して行われ、「ドロップ（姿勢を低く）・カバー（体・頭を守る）・ホールドオン（揺れが収まるまでじっとしている）」という身を守るための基本的な行動を、学校・職場・外出先などで一斉に実践する。



岸田 秀樹  
きしだ ひでき

### 湧水源からの環境整備の区域は

(質問)

### 財団からの寄付を受けた区域のみ

(答弁)

#### ◎質問

麻植協同病院移転改築にかかる環境整備についてであるが、1問目として市民が憩える環境整備ができるのか。

今回、市長の所信表明の中で市民が自由に景観を散策できるための設計予算を提案したとある。その地域は湧水源から下流に向いての全域か、それとも財団から寄付を受け厚生連に貸与した地域のみか。

2問目は市民の関心が非常に高い地下水汚染についてである。汚水を下水道に圧送するに際して

はタンクに溜めなければならぬが、もし地震が発生した時に液状化現象を起せばタンクおよび配管などが破損することにより、汚水が地下水に浸透する可能性が非常に大きくなってくるが、市としてはどのようなようにとらえているのか。

#### ◎河野副市長

1問目については、基本的に財団から寄付を受けた地域、元園内の西側に架かる橋から下流域を整備すると考えている。先般JA厚生連より川沿いを一体的に管理しやす

くするため寄付を頂いている。

#### ◎工藤水道部長

2問目については、汚水中継層は2層設置される予定であり、層は耐震構造計算を行った鉄筋コンクリート造りで、内部は耐食防水施工で万一の亀裂を閉鎖する自閉樹脂

塗膜防水となっており、地下水汚染対策を行う設計となっている。

#### ◎再問

過去に遊水池から下流に向けて市民が散策できるように要望したが、市民のために地下水汚染のないよう願うとともに再度要望する。

### 【その他の質問】

#### ◎質問

ハザードマップの見直しについては。

#### ◎防災局長

経費がかかるために記載事項の大きな変更があるなど、一定の時期が来れば見直す。

#### ◎質問

ワクチンの接種補助の現状と今後については。

#### ◎健康福祉部長

肺炎球菌ワクチンの有効性を見直す動きが出ており、接種の推進に向けて検討が進められている。



江川遊園地の水辺

### 本会議・委員会の傍聴をしませんか



皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。どなたでも傍聴できます。お気軽にお越し下さい。

TEL 22-2241



おかだ  
みつお  
岡田 光男

なぜいま学校再編なのか

(質問)

小規模校では教育環境が良  
くない

(答弁)

◎質問  
県内では7割以上の学校が小規模校で、50年も前から小規模校の学校もあり問題があるとは聞いていない。  
また本市の小・中学校の規模は県下での位置にあるのか。

◎再問  
本市では人口減少対策として「子どもの医療費の無料化」などいろいろ取り組んでいるが、学校数を少なくするという学校再編は、市の施策に逆行するのではないか。

◎辻内教育次長  
学校の小規模化が進んでいる現状こそが問題であると考えている。1校あたりの児童数では多い順から見ると、小学校では24市町村のうち13番目、中学校においては10番目となる。

◎辻内教育次長  
教育委員会としては6年間同じクラスで学校生活を送るのは、正常なものだと思っていない。  
◎河野副市長  
少人数学級を否定するわけではないが、1学年2ないし3学級に将来的に

はしてほしいというアンケート結果を尊重したい。

◎再々問  
答申ではどんなに組み合わせをしても単学級ができることは仕方ないと結論つけている。  
つまり、学級再編による人間関係ができなくなることや、社会性が身に付かなくても仕方がない

と結論づけているが、この答申を市長は重く受け止めるのか。

◎川真田市長  
学校再編計画については教育環境を素晴らしいものにするために一生懸命工夫をし、知恵を使い子ども達のためにベストに近いものをめざしたい。

「その他の質問」

◎質問  
人口減少対策会議を部局横断的に立ち上げるべきでないか。

◎副市長  
必要に応じて組織を設置し、中長期的な検討をしたい。

◎質問  
麻植協同病院の分娩再開は市民の強い要望だが。

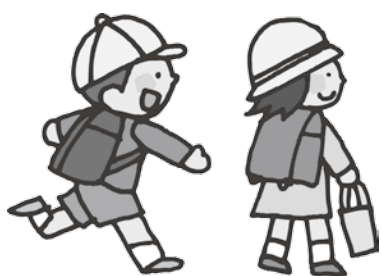
◎総務部長  
産科医の確保など病院側と良く協議しながら検討していきたい。

◎質問  
耕作放棄地を増やさないためにもTPP参加に反対すべきでないか。

◎市長  
基幹産業の農業分野を守るためにも、各機関の動きを注視し、関係団体と連携し対応したい。



森山小学校



# 市民のページ

## モンシロチョウとオオカミ

そして人間



山川町川田

原田

親光

畑のキャベツやダイコンの花が咲くと群れて葉の上を飛びまわって産卵するのはモンシロチョウだ。黒い絞があるのにモンシロチョウと何故言うのか疑問だった。紋白蝶と書けばすっきりする。キャベツの上を飛んでいるのは雄ばかり、そのうち雌が羽化すると雄はすぐ飛んで行って愛の交歓だ。キャベツ花の空中でさっそく交尾する。その乱舞は華やかというほかない。生ざれると雄に発見され、いい寄られ結

婚、売れ残りはない。雄が近よると雌はおなかから出すフェロモンの誘惑物質を出すのですべて交尾しはづれがない。1度

交尾すると男嫌いになり雄が近づいても羽根を下げて拒絶する。何と性の神聖さだ。そして産卵すると数日して一生を終わるはかなさだ。

オオカミの夫婦関係の貞節は生涯だという。雄は森林を駆け巡り獲物を探し、料理をし雌と子どもを養う。その料理とは父親自身で、すべて嘔みくだき呑み込む。獲物は胃袋の中で1時間もすると消化される。それを吐き出すと待ちかまえて

いた妻子がむさぶつて食べる。こんな愛情のこもった産後食や離乳食は他にあるうか。日本のオオカミは明治38年に絶滅した。現在はシベリアの森林地帯に春先にファミリーで姿を見せるといいう。かつて、町の有線放送7時の時報で勇ましい曲が流れ出すと、三つ目のシベリアンハスキー犬はウオーと吠えた。血を引く仲間の呼びかけと思うのだ。静かな夕焼け小焼けに変わるとうならない。

最近、人間界では夫婦、親子間の心理葛藤で非情な事件が起こっている。夫婦の別れ、親子の殺人などだ。モンシロ蝶の結びつき、オオカミの雌雄の結合の愛情の中間に人間は位置する。人間の本性の善悪説がいわれるわけだ。どちらを支持するかは個人の人間観による。しかし、それは生涯終わるまでわからぬとあっては本当に厄介だ。人間の存在の意味は自分で決めねばならない。尊

厳と愛情の人生観である。紋白蝶と狼の天の摂理に通じながら人間個人の判断にかかわるのだ。



モンシロチョウ



オオカミ

孟母三遷は有名な話です。環境のよしあしという事がよくいわれます。孟母から現代の我々が学ぶ事は、常に子ども達にとって良い環境を与えようとした母親の積極的な姿勢です。

33年間続けてきた児童館での紙芝居ももうすぐ終わりになります。

紙芝居を始めた頃は、テレビの時代でしたから、紙芝居なんか見てくれるのかと、不安でしたが話し始めると静かに紙面に向けて見つめる子ども達にこちらの方がびっくり致しました。毎週から月に2回になりましたが、1回になりましたが、このボランティアを通じて子どもと遊ぶ時、子ども

# 紙芝居のボランティア



鴨島町鴨島

工藤 くらう

直己 なおみ



以上に子どもになったり姉になったり、母になったりおばあちゃんになったりの気分です。この時間を持ってた事は最高の幸せ。

「人とのふれ合い」「自然とのふれ合い」をこれからも大事にしていきたいと思っております。

この事が児童にとって

少しでも情緒面の発達にお役に立つ事ができたら、うれしいです。この子ども達とのふれ合いを通じて、今後も健康で明るく素直に育ってほしいなど願っております。

こんな思い出を作ってくれた33年間に「ありがとう」とお礼をいいたい気分です。

## クイズ



魚の名前です。  
漢字をひらがなに直してください。

- ① 鰻
- ② 鰻
- ③ 虎魚
- ④ 隈魚
- ⑤ 比売知
- ⑥ 公魚
- ⑦ 海松貝
- ⑧ 鱈

- ◎ 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。
- ◎ 応募要項 はがき、またはFAXに答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。
- ◎ 送り先 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
☎(0883)22-2241 FAX(0883)22-2242
- ◎ 締切日 平成25年7月5日(消印有効)

### チョットひと言

☆花の漢字は難しいです。菫、初めて知りました。

(鴨島町 渡部さま)

☆私は俳句をしているので春の季節感を感じました。

(川島町 松浦さま)

☆保育所での豆まきは、子供たちのいきいきした様子がよく伝わってきました。続けてほしい行事ですね。

(山川町 住友さま)

### ◎ (前回の回答)

- ① あせび・あしび
- ② すみれ
- ③ たんぽぽ
- ④ しゃくなげ
- ⑤ ひなげし
- ⑥ れんげそう
- ⑦ はばたん
- ⑧ くんしらん

# 表紙の写真

## 募集

### 募集要項

- テーマ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
- 規定** モノクロおよびカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可(3点まで)住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締切** 平成25年8月1日(消印有効)  
発行は8月です。季節感のあるものをお願いします。
- その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応募先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
TEL (0883) 22-2241 FAX (0883) 22-2242

### 市民の皆さんの声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。フアックスでも結構です。

#### 規定

- 400字詰原稿用紙2枚以内
- 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記
- 締め切り  
平成25年7月5日(消印有効)
- \* 投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

#### あて先

〒776-8611  
吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
TEL (0883) 22-2241  
FAX (0883) 22-2242

## あとがき

昨年の閏年。四国八十八カ所の八十八番大窪寺から一番霊山寺に向けて参拝を成すと数倍のご利益があるという。ご利益にさほどの望みもないうが、一念発起し7回目の四国霊場の旅に久々に出掛けた。

今まで6回の結願を果たしているのだが、17年前に参拝を勧めてくれた、私より一回り年上の友人を想い出す。逝ってもう何年に成るのである。

12月30日。家内と一緒に逆打ちで7回目の結願に辿り着いた。

もし数倍のご利益があるとすればその友人が蓮の台で毎日を過ごしている事を願い、そして南三陸を始めとする被災地の逸速い復興を祈念するばかりである。

北川 麦



- |      |       |
|------|-------|
| 編集委員 | 相原 永  |
| 委員長  | 岡田 光男 |
| 副委員長 | 福岡 正  |
| 委員   | 増富 明  |
|      | 近久 善博 |
|      | 山下 智  |
|      | 北川 麦  |